

福祉講演会 実施報告

橋北地区社会福祉協議会
福祉環境部 川村 泰士

去る11月20日、橋北地区文化祭が橋北中学校で開催されました。その際、橋北地区社会福祉協議会・福祉環境部として主催事業『介助犬ってなあに?』と題した福祉講演会を、社会福祉法人日本介助犬協会様の協力のもと実施いたしました。



盲導犬に代表される『補助犬』の中の、手や足が不自由な方々の生活のお手伝いする『介助犬』を、橋北地区の皆さんに広く紹介していただきました。

当日は、100名程度の方々に、デモンストレーションとして、冷蔵庫から飲み物を持ってくる作業や、鍵などを落としてしまって、それを拾って使用者に届ける仕事などを披露していただき、見る方々を驚かせていました。また、PRブースでは、チャリティグッズの販売や、寄付を呼び掛けたところ、多くの方々からの支援を頂きました。日本介助犬協会の活動は、寄付とチャリティグッズ販売で賄われております。

◇橋北地区文化祭内介助犬PRブースでのチャリティグッズ販売と募金の実績

■グッズ売り上げ：32,350円

■募金：10,232円

あらためて皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

最後に、介助犬協会様から頂いた言葉をご紹介します。

『(冒頭省略) 介助犬啓発の貴重な機会を頂きまして誠にありがとうございました。

三重県には介助犬がおりませんので、お越し頂いた皆さんに介助犬を知って頂ける機会になったと思っておりません。午前・午後2回もデモンストレーションのお時間を頂き、皆さんが頷きながら熱心に耳を傾けて下さったこと、本当に嬉しく思いました。

ブースにも多くの方が足を運んで下さいました。沢山の温かいお気持ちを頂きました。

心より御礼申し上げます。

今後、1組でも多くの介助犬使用者と介助犬ペアの育成ができるよう、そして三重県に1日でも早く介助犬ペアが誕生する様に、活動を続けてまいります。(以下省略)』

以上、福祉講演会の報告といたします。

また、『介助犬』にご興味のある方は、日本介助犬協会のHP (<http://s-dog.or.jp/>) をご覧ください。

以下余白

生きがい講座 実施報告

橋北地区社会福祉協議会
福祉環境部 川村 泰士

去る12月1日(木)、当部会主催の生きがい講座にて、本年4月に新しく稼働された、四日市クリーンセンターと日永浄化センターを見学してまいりました。33名の参加者でしたが、天候にも恵まれ、昼食をとるために立ち寄った『伊坂ダム』でも参加者はそれぞれ野外で、おにぎりを頬張りました。

◇四日市クリーンセンター

本年4月から稼働したごみ処理場。もう皆さんもゴミの出し方になれたでしょうか。

4月・5月の頃は、『こんなにいっしょくたに出してもいいんだろうか?』と戸惑いを感じた方も多いのではないでしょうか。難しいことは説明できませんが、日常生活の『燃やす』という感覚ではなく、大きな炉の中に可燃ごみを投入し、乾燥・熱分解ガス化・燃焼・熔融を一気に行ってしまう焼却施設です。製鉄プラントをイメージしていただくといいかもしれません。

また、昨年度との大きな違いとして、破砕ゴミが挙げられます。ベビーカーやスーツケースなども出せるようになりましたが、これも大きな破砕機にごみを投入し、粉々に破砕していく過程で、磁力選別し鉄・アルミとその他に分け、鉄・アルミは資源化、その他は焼却施設へ送る、というシステムです。

とても素晴らしい施設ですが、生ごみを出すときは、できるだけ水分を絞っていただくことが肝心です。素晴らしい施設を、末永く良好な状態で使い続けるために、やはり肝心なことは『リデュース』=発生の抑制=だそうです。 unnecessary 梱包を断るとか、食べ残しをしない、食材を計画的に購入し使い切る、要らなくなったものが必要とする人へ渡る流れを作るとか、様々な工夫が求められます。

クリーンセンターでは、気軽に見学してもらえよう受け入れ態勢も充実しています。

ご関心のある方は、☎059-331-6181までお問い合わせください。



クリーンセンター (左)

伊坂ダム (中)

日永浄化センター (右)

◇日永浄化センター

午後からは日永浄化センター。ここも4月から新たに稼働した『第4系統』という施設を見学。

この特徴はなんと微生物の力を借りていること。もちろん他にも滅菌棟や汚泥をリサイクル原料にする汚泥焼却炉も完備。私たちの暮らす橋北地区から出る下水も、いったん三滝ポンプ場に蓄えられた後、パイプラインでここ日永浄化センターに送られて処理されています。

ここで、皆さんに注意していただきたい大切なことをお知らせいたします。私たちがキッチンや洗面・洗濯機から出す生活排水の中には、上に書いた微生物の嫌いなものも含まれています。特に油類。炒め物や揚げ物で出る油は、一度キッチンペーパーや新聞紙に吸わせて、できるだけ流さないようにしてください。

四日市の環境をより良くするためにも、また、お家の排水溝の寿命を長く保つためにも、油類や強力な洗剤類は流さないように心掛けましょう。

◇伊坂ダム 12月1日時点では、紅葉が思いのほか綺麗でした。♪♪

以上